

みんなで語ろう会

ニュースレターNO.64 2018年3月発行

2018年2月21日に第70回“みんなで語ろう会”を開催しました。体験者11名(女性11名)、家族1名(女性1名)の方にご参加いただきました。女性同士の気安さもあってか、活発なやりとりが交わされ、会が終了してもまだ話し足りない、という雰囲気でした。三々五々残ってお話される方もいらっしゃいました。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ・自分のことは自分の言葉で話す事
 - ・他の方のお話は、善し悪しの評価をしないで最後まで聞く事
 - ・サロンでのお話はこの場限りにする
- 以上三点です。又個人情報保護のために、SNSの投稿、録音、写真撮影は禁止です。ご協力をお願いしました。

○抗がん剤の副作用の強弱によって、気持ちにアップダウンがある。

○がんが疑わしいと思った時点で本を買い、勉強した。そのお陰で、医師からがんと言われてもショックは小さかった。

○二つの原発がんのどちらの転移かわからないので、医師から「様子を見ましょう」と言われているが、様子を見ている日々は辛い。神経が患部に集中してしまう。

○身体に痛みがあると再発ではないかと不安がつる。自分の弱い心と闘っている。

○抗がん剤治療中、心配だったり疑問がある時は電話して看護師さんに対応してもらった。

○ネットで情報を読むより、直接人に会って話を聴いた方がよい。

○発病前は多忙な生活だった。今は以前の生活を引かずらなように、忙しくなりそうなら用事を減らすなど工夫している。

○主治医から受診の間隔をあげようと提案されたが、自分の不安な気持ちを話してわかってもらい、今まで通りの間隔にした。

○主治医との間に、言いたいことを言える、うちとけた関係を築くことが大事だと思う。

○看護師さんや他のスタッフに協力してもらい、医師との間に入ってもらうことも大切だと思う。

ごく一部ですがご紹介させていただきました。次回もスタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

今後の予定

- 日時: 毎月・第3水曜日 13時～15時
2018年 4月18日(水)
5月16日(水)
- 場所: 武蔵野赤十字病院 多目的室
5番館 3F 情報ラウンジ横
- 対象: 主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関にかかっても参加できます。
(申込みは不要です。参加費は無料です。)